

歴史と伝統を未来につなげる新たな一歩

# 8月6・7・8日開催！ 仙台七夕まつり

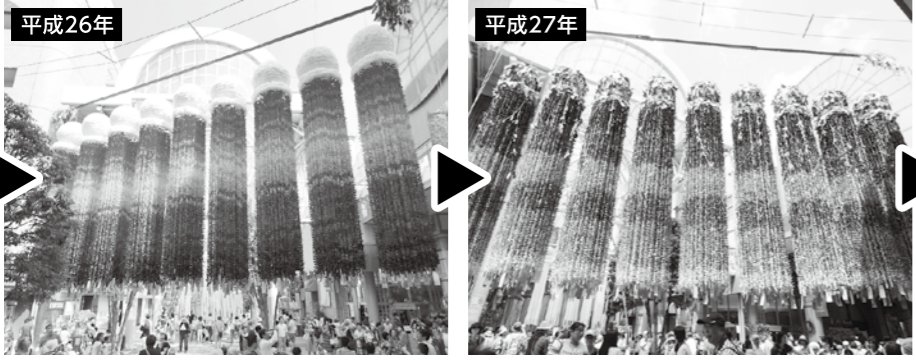
今年、戦後復活70回を迎え、  
全市を挙げて盛大に開催します。

長い歴史と伝統を未来へつなげる  
新たな一歩を踏み出した仙台七夕まつり。  
今号では、今年の見どころをご紹介します。

## 子どもたちの祈りを形にした「児童生徒による七夕飾り」を振り返る



平成23年 「星に願いを 復興への8万人の児童生徒の思い」  
平成24年 「心よせあい 星に願いを ～復興への思いと感謝～」  
平成25年 「あしたにかがやく ～星に願いを つなごう復興への思い～」



平成26年 「夢をかたちに ～星に願いを Made in Dream 児童生徒の思いを伝えたい」  
平成27年 「故郷の未来のために ～星に願いを 緑の故郷(せんだい)」

**?**

今年のテーマは「思いをつなごう 故郷の未来のために～星に願いを 次世代の扉をひらく～」。「子どもたちの熱い思い」を表す赤色と、「未来への希望」を表現する白色が基調のデザインとのこと。

### 大震災から始まった飾りづくりを通して子どもたちの思いを未来につなげる



仙台市教育委員会 学校教育課 教育相談課 主幹兼主任指導主事  
たかはし きょういち  
高橋 恭一 氏

#### 「自分たちにできること」が形になった8万羽の折鶴

東日本大震災が発生した平成23年にスタートしたこの七夕飾りも、今年で6回目を迎えます。

震災後、子どもたちは、全国からの支援に対する感謝の気持ちや、お互いに助け合い、協力することの大切さなど、たくさんを感じ、学びとてきました。そんな中、「児童生徒による故郷復興プロジェクト」の一環として、子どもたちが「復興に向けて自分たちにできることは何だろうか」と考えていくうちに出てきたのが、この取り組みでした。

#### 折鶴に込められた子どもたちの思い

飾りに用いられる折鶴は、仙台市内の小中学生がみんなで折っています。毎

#### 七つ飾りに願いを込めて

短冊(たんざく) 学問や書道の上達	紙衣(かみころも) 病や災難の厄除け・裁縫の上達	折鶴(おりづる) 家内安全・健康長寿	巾着(きんちやく) 商売繁盛 お金を大切に	投網(とあみ) 豊漁・豊作	屑籠(くずかご) 清潔・儉約	吹き流し(ふきながし) 技芸上達 (織姫の織糸を象徴)
----------------------	-----------------------------	-----------------------	-----------------------------	------------------	-------------------	-----------------------------------

年、まつりに訪れる多くの方にご覧いただいています。ぜひ今年も、デザインだけでなく、そこに込められた約8万人の子どもたちの思いを感じながら見ていただきたいと思っています。

昨年のオープニングセレモニーで、生徒の代表が、「これからも震災の体験を次の世代に伝えていきたい」とメッセージを述べました。震災の記憶がまだはつきりと残っている方は多いと思いますが、今後、震災を知らない世代が増えてくる中で、震災の記憶を風化させないように、そして、これからもみんなで心をつなぐという素晴らしい体験ができるように、「次世代に伝える」気持ちをつなげていくのが大切なのだと思います。

#### まちの元気を担う子どもたちを育む

復興とは何かを考えると、まちが元気になることなのではないかと思えます。まちや地域を元気にするのは、次世代を担う子どもたちです。七夕飾りづくりを通して、仙台七夕まつりの伝統の継承とともに、子どもたちの、まちづくりに参画する気持ちを育んでいきたいとも考えています。

地域の一員としてたくましく成長する子どもたちにこれからも大いに期待いたします。ただながら、今年も多くの方々にこの七夕飾りを、ご覧いただきたいと思っています。

# 伝統・パフォーマンス・グルメ：今年もおまつり広場は楽しみ満載！



「仙台七夕・おまつり広場」  
専門部会長  
たなか まさし  
**田中 昌志** 氏  
(株藤崎 専務取締役)

今年も、「仙台七夕・おまつり広場」では、観光客の方、そして市民の皆さんに仙台七夕まつりを存分に楽しみたいだけ、たくさんの方の「見どころ」をご用意しています。

星のステージでは、今年新しくステージ後方に大型ビジョンを設置。各団体のステージパフォーマンスに加え、音と光と映像を織り交ぜた演出をお見せします。

織姫・彦星ひろばでは、仙台の街並み、仙台七夕の移り変わりを写真やポスターで紹介する「七夕伝承館」や、「七つ飾り作り体験コーナー」を設置する他、縁結びの神様として知られる野中神社(一番町)とコラボレートした縁結びビスト

ラップ企画も昨年に引き続き実施します。

つなぎ横丁の踊りましょう通りでは、宵の時間帯に巨大櫓を建て、お集まりの皆さんと一緒に七夕おどりの宮城の盆踊りを踊ります。日中はスイーツのケータリングカーが並びますので、昼間もぜひお越しください。

定禅寺通りグリーンベルトでは「定禅寺通り・天の川回廊」を展開します。全国の皆さんや、村井知事、奥山市長、スポーツ3団体の選手などが願いをしたためた短冊を展示するとともに、国分町交差点から晩翠通り交差点の間には、ピンクのLEDライトで装飾したハート型アーチを設置します。七夕をモチーフにした切り絵行灯にも注目ください。また、まつりの新たな魅力を見つけ、ぜひ、「仙台七夕・おまつり広場」に足をお運びください。

**仙台七夕マップ**

野外音楽堂  
緑がたきさん！市長の思いのこめ。七夕飾りを作るお店で飾り、夜はコンサートが行われます。

仙台七夕おまつり広場

仙台七夕花火祭

仙台市地下鉄東西線開通！

七夕飾り付け地区  
七夕案内所(教護所・迷子相談所)  
るーぶる仙台停留所

仙台七夕まつり協賛会では、毎年8月6日に夜飾りの設置を実施しています。夕方には公式HP上で開催発表がありますので、発表・金銭・銀貨・銀貨の飾りを探してみてください！

## 仙台七夕おまつり広場

開催会場  
勾当台公園市民広場・定禅寺通りグリーンベルト・踊りましょう通り

東二番丁通り

地下鉄出入口 北1

勾当台公園市民広場

地下鉄出入口 公園2

定禅寺通

地下鉄出入口 南1

総案内所

踊りましょう通り  
日中はスイーツのケータリングカーが、夜は巨大櫓が登場し、みんなで七夕おどりと盆踊りを踊りましょう！

東一番丁通り(アーケード)七夕飾り付け地区

定禅寺通り・天の川回廊  
ハートの「光のトンネル」と美しい行燈の「七夕切り絵アート」で幻想的な空間に！

開催期間  
**8.6⑤~8.8⑧**  
11:00~21:00

ステージエリア  
宮城の伝統芸能や在仙スポーツ団体、アーティストなどの多彩なステージを展開！

七夕食堂エリア  
宮城・仙台の美味しいものを揃えて皆様をおもてなし！

七夕伝承館  
戦前からの仙台七夕の歴史を振り返るブースや、写真を撮って記念オリジナル新聞作成やワントッチ浴衣着用コーナーなどがございます。

織姫・彦星エリア  
会いたい人に思いを届けるハート型短冊コーナーや織姫・彦星Barもオープン！そして仙台七夕の特長である「七つ飾り作り体験コーナー」や小竹鉢植えを設置し、短冊記入を促します。

お休み処

観客席

星のステージ

市営地下 駐車場入口

臨時 派出所

仙台市役所

### 新規参加商店会 新しいにぎわいをつくり 地域のつなぎ役に！



仙台銀座親和会  
会長  
よこやま えいこ  
**横山 英子** 氏

仙台銀座親和会は、仙台朝市に隣接し、東一番丁と南町通りに囲まれた、特徴のある飲食店が多い商店会です。今回、初めての七夕飾りへの参加となりますが、近隣の病院にもご協力いただき、地域コミュニティを生かしながら、鉢植えや笹竹を中心に飾り付けを行ってまいります。飾りづくりは商

### 仙台七夕おもてなし隊 今年も中心部に出動！

昨年結成した「仙台七夕おもてなし隊」。今年も、約50の企業や団体、大学などからお申し込みいただいた400人を超える方々のご協力により、来仙される観光客の皆さんをサポートしていきます。

おもてなし隊は、まつり期間中の仙台駅周辺や中心部商店街のアーケードなど12カ所に配置。記念写真撮影や道案内、仙台七夕の歴史や見所紹介などさまざまな形で、皆さんの仙台七夕まつり見物がすてきな思い出になるよう、全力でお手



それぞれに趣向を凝らした飾りの前で撮る記念の一枚は最高の思い出。おもてなし隊は、道案内や写真撮影など、皆さんの思い出づくりをサポートします。

店会の90歳になる方の指導で、みんなで行っているんですよ。

私は幼いころから「こは仙台の戦後復興のベースを築いたところだ」と聞かされてきました。新しいお店も増えましたので、七夕を通して結束を深め、改めてまちを元気づけていきたいと思っています。

また、仙台駅や朝市商店街さん、そして一番町商店街さんにも近いので、その間に立っている私たちがにぎわいを創ることによって、地域と地域、まちとまちをつなぐ役割も担っていきたくて考えています。

仙台七夕は、ふれあいを大切に、お子さんから高齢の方までみんなで楽しみたいと思っています。たくさんの方のお越しをお待ちしています。

団体審査に初参加!

地域の大切な行事として  
長く続くものになりたい



八木山中央商店会  
会長  
やまだ きみお  
山田 公夫 氏

地域として40年以上、七夕の飾り付けを行っています。審査にも参加してみようか」ということになりました。今年初めて団体審査(※)にエントリーすることになりました。

当商店会は、ご家族で商売をされているお店が多いです。目の前を走る道路の交通量が多いということもありまして、どうしてもサイズの小さな

## 周辺商店街巡りも 楽しみ方のひとつ

まつり期間中、仙台市内はさまざまな趣向を凝らした七夕飾りで彩られます。

中心部商店街の豪華絢爛な飾りは観光雑誌などでも紹介されますが、一方で、周辺商店街の地域性あふれる飾りも見逃せません。町内会や子供会なども一緒に作った飾りたちは、時にノスタルジックな雰囲気を感じさせ、昔ながらの七夕の風情を感じさせてくれます。今年の仙台七夕まつりは、ぜひ少しだけ



青空の下で風にそよぐ七夕飾り  
(八木山中央商店会)。

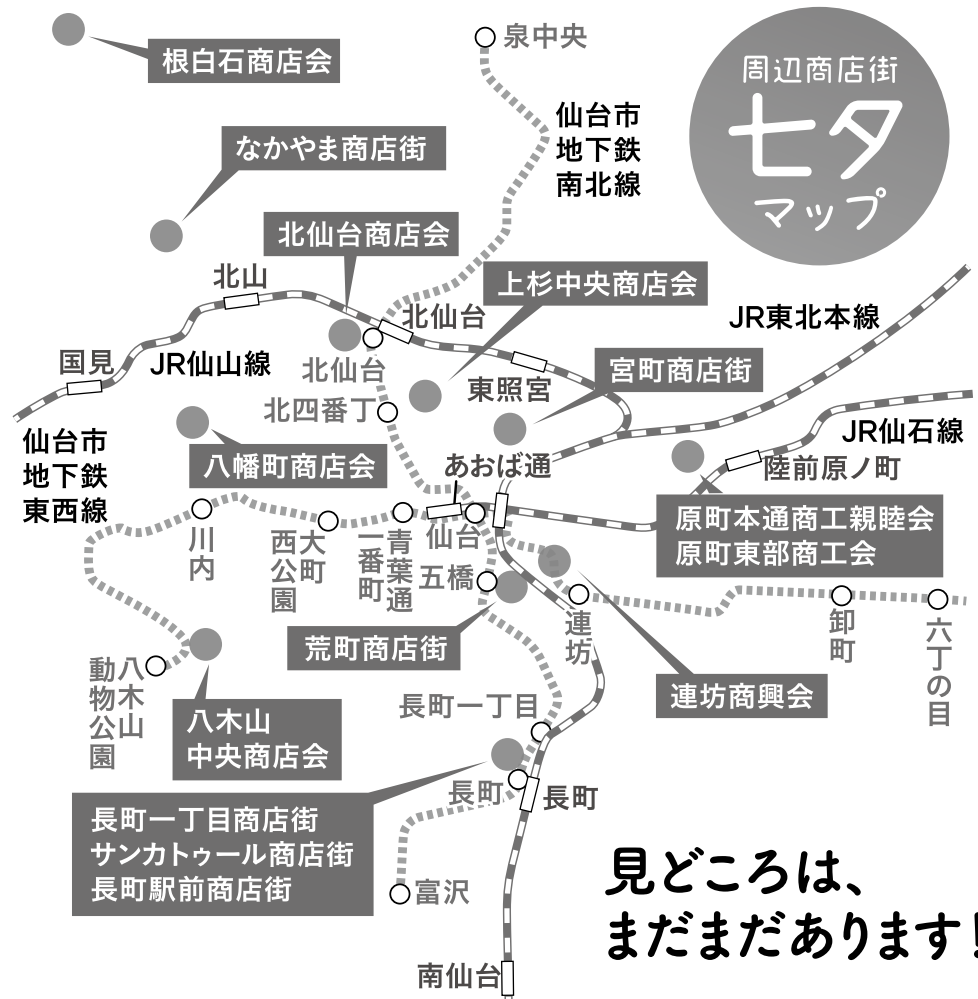
飾りが主になってしまおうのですが、若い方や、新しくここにお店を開かれた方などにつくり方をお教えしながら、みんなで飾りづくりをしています。高齢者の方などは、ご近所のお店がその年にどんな飾りをつくるのか毎年楽しみにされているようですので、なかなかやめられません(笑)。

他の地域からたくさんの方にきていただきたいたいのはもちろんなのですが、七夕は地域の行事ですから、地域の方への感謝とご奉仕の気持ちを大切にしながら、これからも長く続けていけるように、取り組んでまいりたいと思っています。

※団体審査：仙台七夕まつり協賛会では、市内を5地区に分けそれぞれ金・銀・銅賞などの団体賞を決定しています。

け足を伸ばして周辺部の商店街も巡ってみてはいかがでしょう。きつと、今までに見たことのない飾りや、それをつくったまちの人とのすてきな出会いがあるはずですよ。

## 周辺商店街 七夕 マップ



見どころは、  
まだまだあります!

仙台七夕まつりの最新情報はコチラから  
【公式HP】  
<http://www.sendaitanabata.com/>  
【フェイスブック】  
<https://www.facebook.com/sendaitanabatamatsuri>

お問い合わせは  
仙台七夕まつり協賛会(事務局・仙台商工会議所)まで  
TEL 022-2265-1818